

わせ國における



資金の決定理論はともかくとして、資金の本質はあると解せられる。ところが、就業直後のインフレーションの過程において、實質賃金が戦前（昭和十年）に比し一〇%に低下し、昭和二十三年には極く五〇%に達した段階の下では、其合は勞働に対する懲罰というよりは單純に理性的な生存のための説明に立つてしまふのである。資金の本質からは労働者の労働の生産性換算すれば結構によるところの能率賃金が理想的思考と考えられるのであるが、現実のインフレーション下の生活費の爆騰、労働攻勢などによって資金の名目的引上げが急速に行われ、労働が生産に及ぼす影響によりも労働の再生産の費用、即ち生活費の高さに設かれた生活賃金的換算が伸びるに至つたのである。殊に、断続的の経済の運びに因らずする其上げ現象が、實質的に既に其資金水準を超過したために各種の手當や加給が現われ、資金体系は甚だ複雑なものとなつた。

例えば昭和二十三年五月に労働者が行つた賃金構成に関する調査の結果にみるとが明かに示されている。それによると其資金体系は、本筋が全員の三八・七%で最高を占め、物價動（臨時手當、物價手當等）が三六%で次位を占め、賃率筋が一五・一%、家族手当九・三%の順で、その他の賃員は五%以下である。

然にその後の経済九割用策はドウヂ・ラインによる強力な経済政策の結果、經濟の安定化の傾向は顯著となり、本年八月の貿易賃金は、前年（昭和十九一年）の六八・八%より貿易水準は七四%までに回復したと報せられている。（東洋商報）

（注）貿易賃金に於ける

併し、貿易賃金問題については既に早くも昭和二十一年頃より労働組合側の生活費賃金に対する使用者側は専門会員会を組織していたあるが、昭和二十三年十一月には詔諭の貿易三原則が明示され貿易賃金問題は各企団の自己能力の範囲内の問題であるとして、人間關法による生産機能の向上による以外には貿易の増加の方法は許されなくなつたわけである。

概くして貿易制度は輸出貿易制度への移行を要請されたのである。

低速の、貿易賃金の上昇を裏付けるものとして労働者一人当たりの生産高によつて現われる労働生産性はその問題点を昇興興向を述べたのである。

例へば、工場の労働生産性（労働者一人一ヶ月當りの生産高）指數は、二十四年半期（一〇〇）と二十二年半期（一〇〇）とに對し、二月には二二・六と増し、十二月には二七・六と増し、翌年度を追じて三七・六と増したのである。

だがしかし、われわれは國內における回復の努力

各國労働生産性指數の推移						要がある。
年月	カナダ	チー	イギリス	アメリカ	日本	
1937年1月	100	100	100	100	100	—
45年	98.9	105.5	—	127.7	—	—
46年	95.1	109.8	94.9	112.1	—	—
47年	98.9	104.2	95.3	115.5	28.3	—
48年	98.9	115.7	107.5	119.0	41.8	—
1949年6月	102.8	108.7	121.6	119.1	54.8	—

朝鮮ブームと

豹騎一隊

朝鮮ブームと
オーバー・ロー

ローン
駒崎一雄

ものであつても、それが販賣の余利としての販賣であることは異論はない。しかしに投資と貯蓄とは終局的に均等化し、用者の大きいさにより国民所得の大小が決定される。預金部資金の相當部分が貯んでいるといふことは投資が貯蓄に及ばない結果となり、かかる投資不足は結局国民所得の減少、貯蓄者の減少となる預金部の潜在資金の欠乏が不可避的におこり、ヨーロッパなど、そのため預金にも相違金で運んであるといふことは投資が貯蓄に及ばない結果となり、かかる投資不足は結局国民所得の減少となり、貯蓄者の減少となる。短期資金限たる市中資金の長期間化し、かかる傾向に沿車かけ結果となる。

以上例が如電が日本經濟に與えた影響は大きい。政策面に就けば、なほ問題も多い。物價安定、貿易均衡、貨幣政策の調整等歎願りないこれらは如何なる方向にむかって改善されねばならないであろうか？

(三)

先づ第一に物價政策の問題。國際通商化はむしろ當然の事として認定すべきである。蓋し競争的競争をもたらす國際經濟に参入したわが国が國際經濟からの影響を受ける事はやむを得ないからである。それよりもむしろ輸入の促進により物價を安定させねばである。

(筆者は本學二十五年卒業後即ち

る。ハイエクの中立貨幣論のトーランス制度が会員国に輸入保護主義と共に輸入保護主義は、完全競争において妥當しても、一般的な不完全競争においてはむしろ競争原理においてはむしろケインズ的であるとともに、経済の進歩と共に供給貨幣量が増加してこそ正常なる形態である。もと論理的根柢を見たら、また國際信託の面から貸出と会員金が定め比率を持つことが健全なる經營の名のもとに要求せらるべきである。しかしむしろ改善しなければならぬものは財政、無計画な開拓資金の運用である。日本の会員は外國に比して高過ぎるといふことがいわれている。勿論金利はその國の資本蓄積の程度を反映するものであるから日本の標に資本の積が少い國はある程度度

屋ベーカリーのプレゼントで
貴方のエチケットを
Merry Christmas